

交付対象事業の名称	事業概要	K P I				令和2年度の主な取組とK P Iへの影響	今後の方針	事務局評価
		指標	単位	R2目標	R2結果(見込)			
シルバーと若者が農で大活躍！農業活性化プロジェクト	<p>シルバー人材センターが農業経営を行うための「農の拠点」となる農業施設を整備し、高齢者が農業に必要な知識・技術を習得できる場、また新規・若手就農者を育成する場として機能することで、農業の再生、雇用の創出を促進する。</p> <p>高齢者でも低負担で耕作でき、高品質を維持できるアイメック農法で栽培するミニトマトを市場に出し、将来的には年間約10トンの収穫により収入を得ることで、農業事業に関する経費を賄える水準を目指す。</p> <p>また、センターは習得した農業技術による耕作放棄地の利活用や、農作物のブランド化に向けた検討・研究を進めることで、犬山市の農業推進の一翼を担うことを目指す。それらが実現することで、高齢者の就業機会の確保や生きがいづくりに資するとともに、センターの経営的自立に向けた収益性向上を図る。</p>	① 農作物の収穫量	kg	9,600		調査票4-1 P1上段 「「農」あるシルバーは地域を救う！若者と共に農業で大活躍プロジェクト」参照	同左	同左
		② 耕作・販売に従事した会員数	人	50				
		③ 高齢農家への支援件数	件	7				
伝統文化を活用した観光コンテンツ造成のための施設整備計画	<p>からくり文化の発信拠点となる施設を整備し、観光振興の場・にぎわい創出の場として活用することにより、交流人口の増加を図るとともに施設を利用した体験型観光メニューの造成や、犬山祭、からくりに関連した商品の開発・販売などにより市内の観光収入の増加を目指す。</p> <p>事業効果を高めるための取組として、文化史料館本館からの動線に配慮したスロープの整備（効果促進事業）、北駐車場の改修（単独事業）、他の拠点施設における犬山祭関連ミニライブラリースペースの整備（単独事業）を計画しており、犬山城下町全体の活性化を図る予定である。</p>	① 施設を活用した売上金額（グッズ販売、特産品販売、イベントなど）	千円	1,625	479	<p>【からくり文化の情報発信】</p> <p>令和2年6月に、IMASEN犬山からくりミュージアム 玉屋庄兵衛工房がオープンした。施設では平日2回、土日祝日3回以上からくり人形の実演解説を行うとともに、年2回からくり文化にまつわる企画展を開催し、情報発信に努めた。これにより、入館者数が増加した影響で①、③が増加した。</p> <p>【地元業者や市民団体等が開発した特産品・グッズ等の紹介・販売】</p> <p>からくりミュージアム内には、物販棚を設け、レイアウトを工夫して地元業者や市民団体等が開発した特産品・グッズ等を紹介、販売した。これにより、①売上金額の増加につながった。</p> <p>【新たな観光客層の開拓】</p> <p>からくり文化をより身近に感じてもらえるよう、実演解説や映像コンテンツを充実させた。実演解説を目標とした③観光ツアー件数に影響した。</p>	<p>【からくり文化の情報発信】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、引き続き実演解説や企画展示を行う。また、令和2年度はイベントを開催することができなかったが、イベントを開催できるような手段について調査検討を進める。</p> <p>【地元業者や市民団体等が開発した特産品・グッズ等の紹介・販売】</p> <p>引き続き特産品・グッズ等の紹介・販売を行う。</p> <p>【新たな観光客層の開拓】</p> <p>FacebookなどSNSを活用した情報発信を充実させ、若年層の新規来館者とりピーターの増加を目指す。</p>	地方創生に効果があった
		② 拠点施設（文化史料館・どんでん館）を活用したイベント開催における施設集客数（延べ人数）	人	7,939	0			
		③ 施設をルートに入れた観光ツアー件数	件	24	16			